

# 経営比較分析表（令和5年度決算）

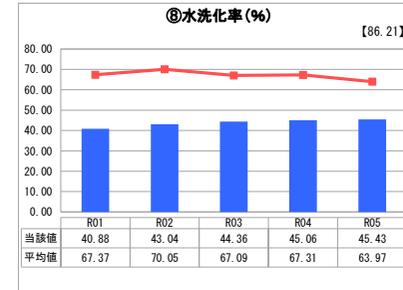
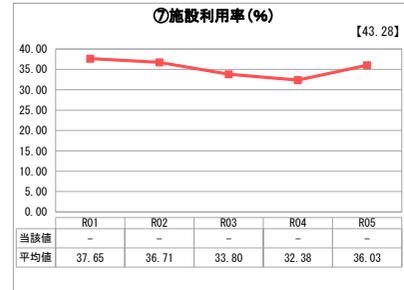
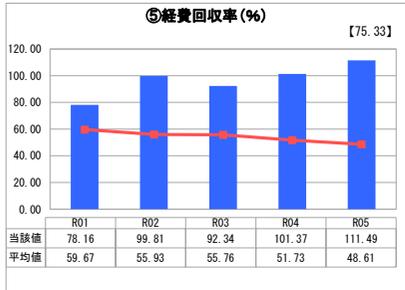
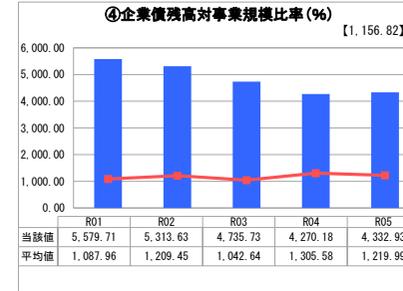
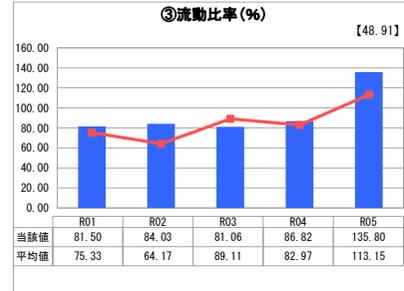
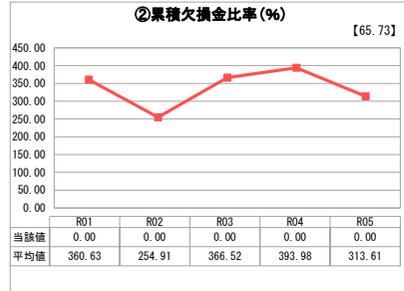
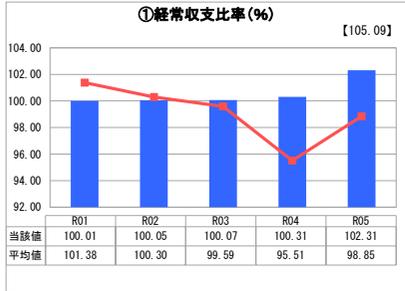
埼玉県 上里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	60.70	3.41	100.00	2,167

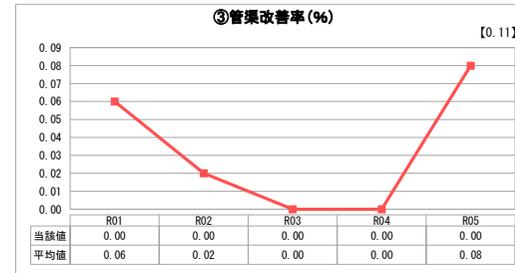
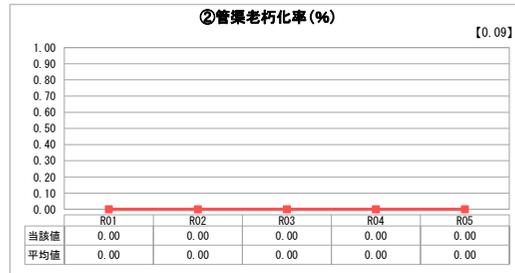
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
30,549	29.18	1,046.92
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
1,039	0.27	3,848.15

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和5年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率  
平均値を超える水準でほぼ例年通りの推移をしており、経営は概ね健全であると考えられる。

② 累積欠損金比率  
累積欠損は発生しておらず、健全な状況と考えられる。

③ 流動比率  
例年と比べ大幅に増加しており、十分な支払い能力が確保できた。今後も100%を上回れるよう継続していく。

④ 企業債残高対事業規模比率  
平均値と比べ高い水準であり、使用料収入に対して企業債残高が大きい状況である。区域内の整備事業は完了しているため、今後次第に減少すると考えられる。

⑤ 経費回収率  
平均値を超える水準で推移しているため、引き続き経営の健全化のため改善を図っていく。

⑥ 汚水処理原価  
平均値より低い水準で推移しているため、今後も経費の効率化を図っていく。

⑦ 水洗化率  
例年増加傾向であり、水洗化率の向上は収益の向上に直接結びつくため、啓発活動を通じて公共下水道への加入を促し、さらなる接続率の向上を図る。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率  
償却対象資産の老朽化が進んでおり、平均値とほぼ同等の数値となったが、現状更新工事を行っていないため今後も上昇傾向となる見込みである。

② 管渠老朽化率  
管渠工事はH7年度からの実施であり耐用年数を超える管渠はなく、0%となっている。

③ 管渠改善率  
更新が必要な管渠が現状無いため更新は行っておらず、0%となっている。

### 全体総括

経営の健全性・効率性については、経常収支比率が100%以上で推移しており、概ね健全であると考えられる。

しかしながら、短期的な支払い能力の不足等の課題があり、さらに今後は流域下水道の維持管理負担金の値上げも想定されるため、適正な使用料収入の確保といった経営改善の検討が求められるほか、引き続き健全な財政運営を行っていくため経費の効率化などの取り組みが必要であると考えられる。

また今後、併用開始後の経年に伴う管渠等の老朽化への対策が必要になると見込まれるため、将来の更新需要に備え計画的に事業を行っていく必要がある。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。